

「路線バスについて」の調査結果について

□調査期間 平成27年3月9日～平成27年3月19日

□調査の趣旨 路線バスの利用状況等について、お聞きします。

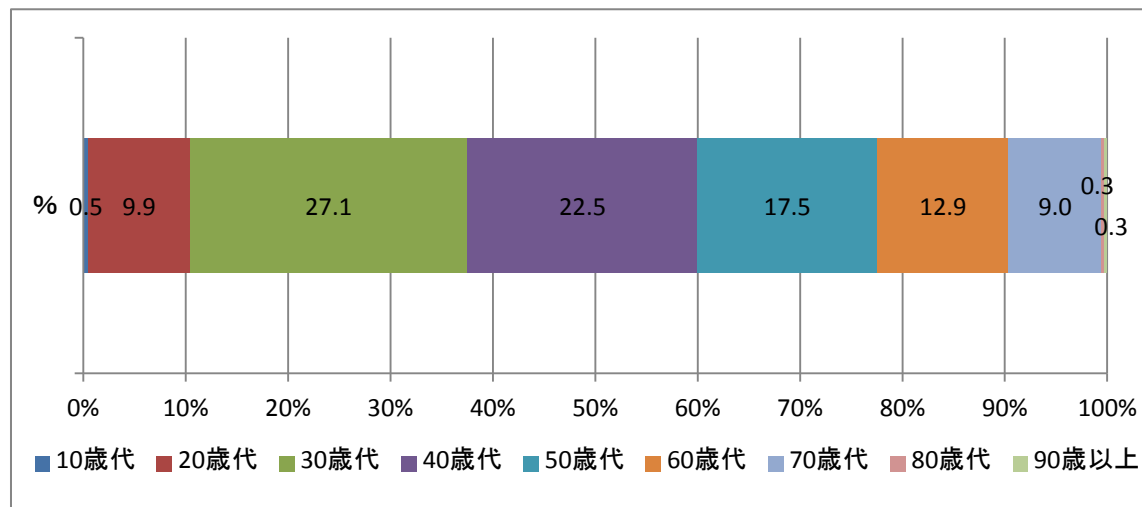
□対象者数 365 人(平成27年3月9日現在)

(図および表中の比率は、少数点第2位を四捨五入して表示しています。したがって、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。)

内訳	人数	%
10歳代	2	0.5
20歳代	36	9.9
30歳代	99	27.1
40歳代	82	22.5
50歳代	64	17.5
60歳代	47	12.9
70歳代	33	9.0
80歳代	1	0.3
90歳以上	1	0.3
合計	365	100.0

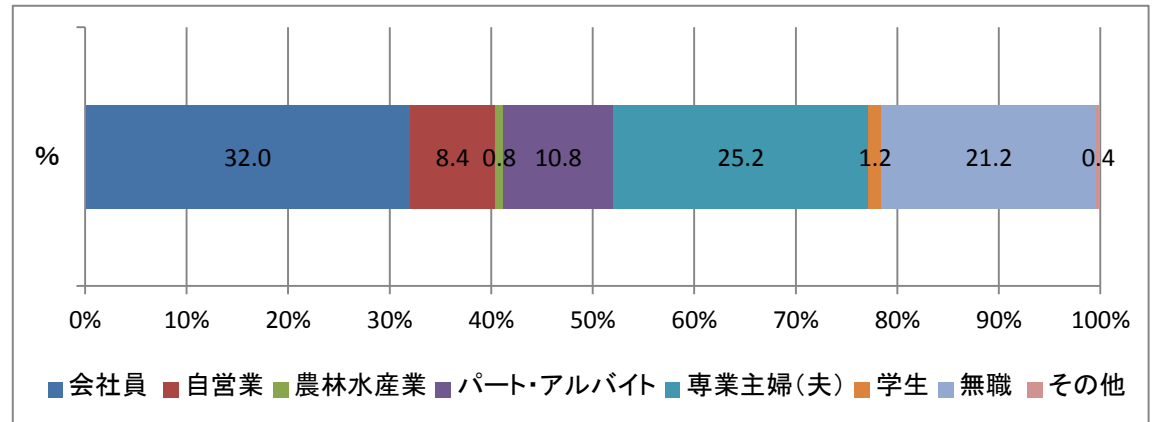
□回答者数 250 人

□回答率 68.5 % (平成27年3月19日時点)



【ご職業】

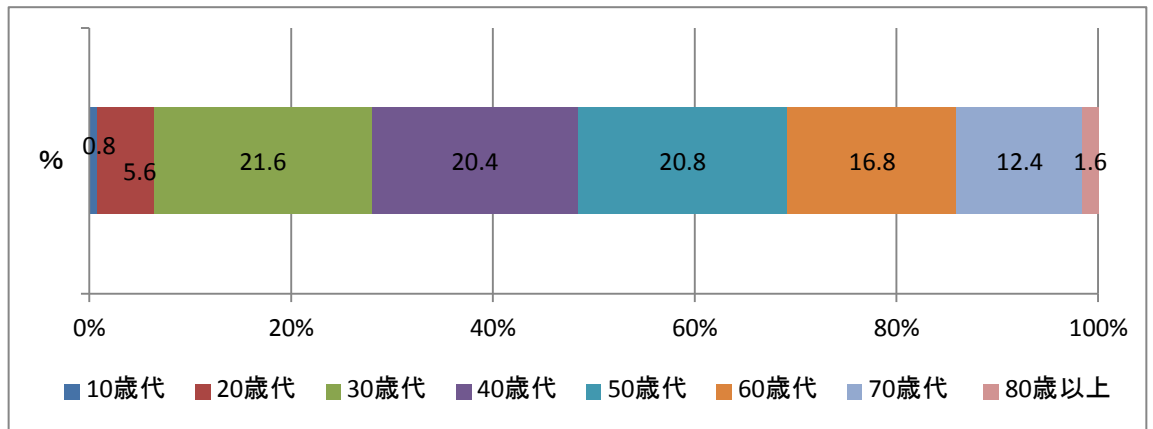
内訳	人数	%
会社員	80	32.0
自営業	21	8.4
農林水産業	2	0.8
パート・アルバイト	27	10.8
専業主婦(夫)	63	25.2
学生	3	1.2
無職	53	21.2
その他	1	0.4
合計	250	100.0



その他のご職業
・団体役員

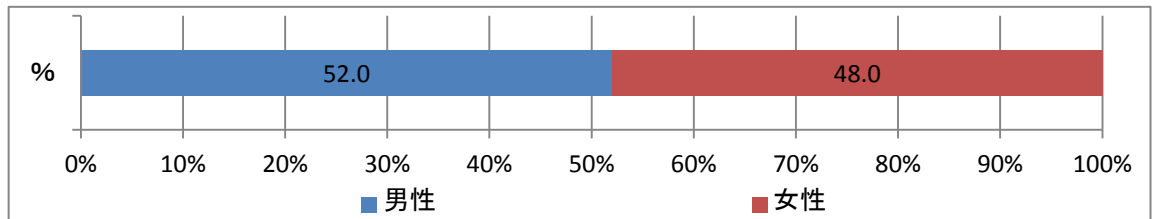
【年齢】

内訳	人数	%
10歳代	2	0.8
20歳代	14	5.6
30歳代	54	21.6
40歳代	51	20.4
50歳代	52	20.8
60歳代	42	16.8
70歳代	31	12.4
80歳以上	4	1.6
合計	250	100.0



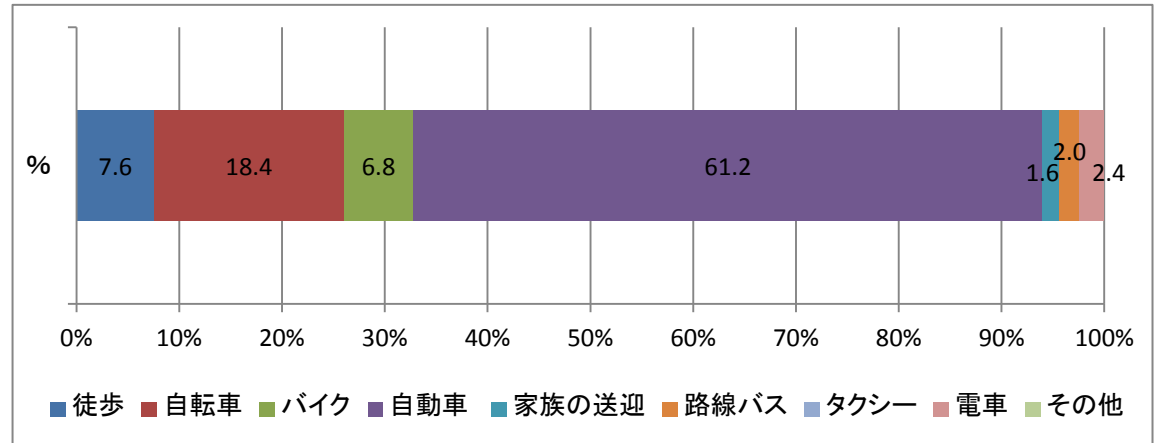
【性別】

内訳	人数	%
男性	130	52.0
女性	120	48.0
合計	250	100.0



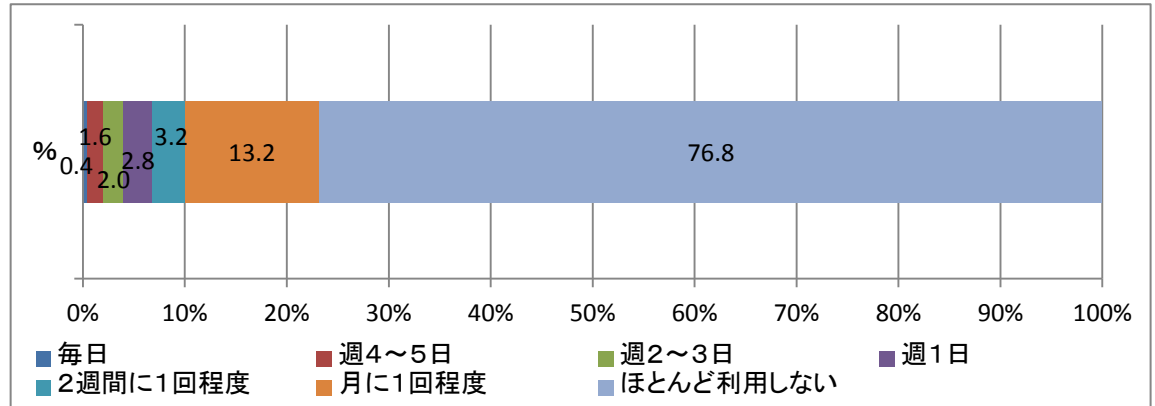
問1 日常生活におけるあなたの主な移動手段は何ですか。

回答	人数	%
徒歩	19	7.6
自転車	46	18.4
バイク	17	6.8
自動車	153	61.2
家族の送迎	4	1.6
路線バス	5	2.0
タクシー	0	0.0
電車	6	2.4
その他	0	0.0
合計	250	100.0



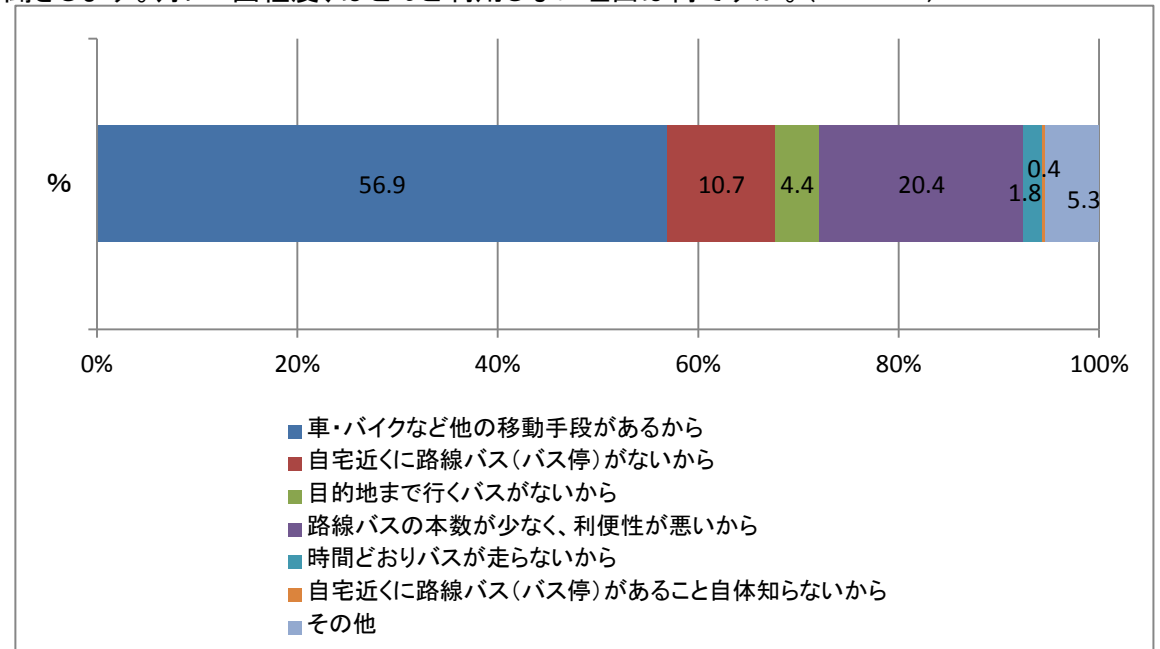
問2 日常生活においてあなたはどの程度路線バスを利用していますか。

回答	人数	%
毎日	1	0.4
週4~5日	4	1.6
週2~3日	5	2.0
週1日	7	2.8
2週間に1回程度	8	3.2
月に1回程度	33	13.2
ほとんど利用しない	192	76.8
合計	250	100.0



問2-1 「問2」で「月に1回程度」、「ほとんど利用しない」と回答された方にお聞きします。月に1回程度、ほとんど利用しない理由は何ですか。(n=225)

回答	人数	%
車・バイクなど他の移動手段があるから	128	56.9
自宅近くに路線バス(バス停)がないから	24	10.7
目的地まで行くバスがないから	10	4.4
路線バスの本数が少なく、利便性が悪いから	46	20.4
時間どおりバスが走らないから	4	1.8
自宅近くに路線バス(バス停)があること自体知らないから	1	0.4
その他	12	5.3
合計	225	99.9

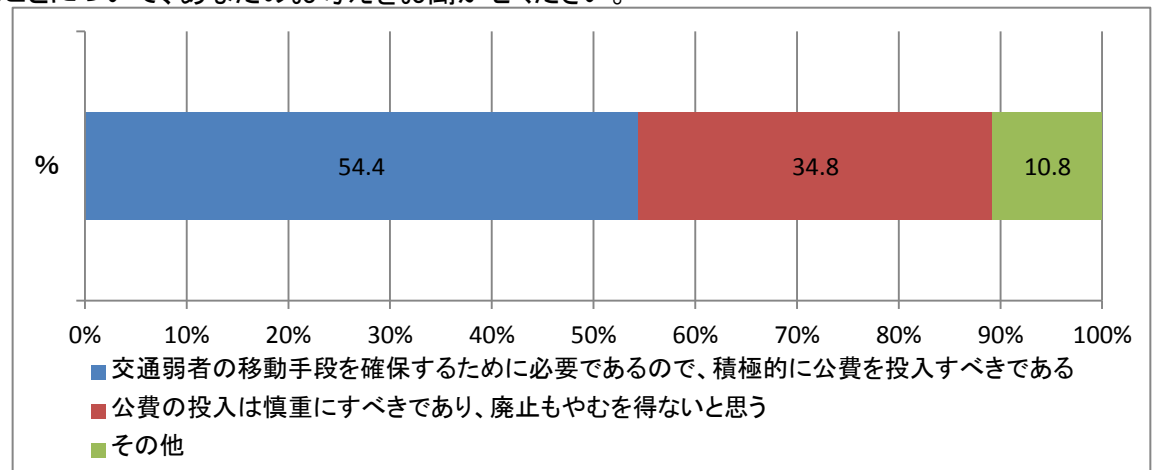


問2-1-1 「その他」と回答された方は、くわしくご記入ください。(任意回答)

- ・歩いて行けない時はバスを利用する。
- ・電車に乗る時だけバス利用のため。
- ・使用したい時間に運行していないから。
- ・和歌山市内での移動は基本的に歩くことにしている。
- ・一つだけ選べということなので。運賃が比較的高いから。
- ・運動にもなるのでできるだけ自転車や徒歩。また、バスの料金もやや高い。
- ・バス料金が安い。和歌山市内200円台で、どこまでも行けるのなら乗ります。
- ・バスに乗って出かけないといけないほど遠出することが少ないから。値段が高いから。
- ・外で飲酒の予定がある日や雨の日に利用したいが、運賃料金が安く感じて気軽に利用できない。帰宅する時間に最終便が終わっている。
- ・自転車の方が健康によく、利便性がはるかに高いから。しかし、遠方(10km以上)または雨天の場合はたまにバスに乗るが、その時には「元氣70パス」は非常に有難い。絶対に廃止されないようお願いします。

問3 需要が少なく、採算のとれないバス路線の維持に公費(税金)を投入することについて、あなたのお考えをお聞かせください。

回答	人数	%
交通弱者の移動手段を確保するために必要であるので、積極的に公費を投入すべきである	136	54.4
公費の投入は慎重にすべきであり、廃止もやむを得ないと思う	87	34.8
その他	27	10.8
合計	250	100.0



問3-1 「その他」と回答された方は、くわしくご記入ください。(任意回答)

- ・廃止には反対ですが、積極的に公費を投入するというのもどうかと思います。
- ・公費投入はやむを得ないが、その補助金額をできるだけ抑えてほしい。
- ・自動車があるのでバスは利用したことはありません。
- ・もっと実態にあった運行、経営の実施。貴志川線レベルの補助(公費の投入)。
- ・利用が少ないなら廃止をして、代わりに予約式や小さなバスにするとかしたらどうでしょうか。
- ・行政区域内に行き渡った交通手段を整備することは社会保障の一環として考えるべき政策。
- ・交通手段の確保のために存続は必要だとは思いますが、公費投入となると金額のバランスは考慮すべきと思う。
- ・交通弱者の移動手段の確保は必要とは思いますが、路線バスの維持に公費の投入するのはどうかと思う。
- ・高齢化でバスは必須だと思いますが、廃止路線はかなりあると思います。それを公費で賄うのはかなり難しいかも。
- ・維持だけで公費を投入されるのは大反対だが、採算をとる努力工夫が県民市民によくわかれば賛成できる。
- ・採算の取れない路線に、維持のための税金を投入しても改善の見込みなし。乗る人を増やす施策のために、税金を投入した方がよい。
- ・利用促進と資金協力も兼ねて一定期間毎に回数券の購入をその路線の住民に購入をお願いする。500~1000円程度(期限付き)。
- ・税金を投入しても現状の運行内容だと採算が取れないままで、悪循環だと思います。バス会社も改善、改革をしなくなると思います。
- ・まちづくりの際に、公共交通機関を考慮していかないと将来的にはどこも採算が厳しくなると思います。需要の少ないところは廃止した方がいいと思います。
- ・公費の金額にもよるし、余裕があるなら投入してよいと思うが余裕があるとも思えない。でも、他のくだらないムダなことに投入しているなら、それよりも優先してもよいとも思うし、結局、他との兼ね合いによると思う。
- ・採算のとれない路線に高齢者の方が多く、病院や買い物に利用されている路線は残さないと行けないと思います。市内中心部で採算のとれていない路線は廃止してもやむを得ないと思います。
- ・そのままの大きさのバス、規模で、公費投入することには反対。利用者数に応じた大きさ(マイクロバスや、8人乗り程度などのバン)の車で、最低限必要な路線(高齢者率の高い場所を回るなど)を選定し、公費投入するのが良いと思う。
- ・合理化すべきだが、高齢化、過疎化地域にはワゴン車やマイクロバスなど、実情にあった運用が必要だと思います。車の小型化や運行時間を見直す。また、買い物であれば、スーパーに車を運行してもらおうとか、ネットの活用もあるかな。
- ・公費を投入する前に、バスの利用を促進する施策を導入してほしい。(料金体系の見直しや、特定者向け(年金受給者、観光客)の無料化など、利用促進できる方法を社会実験として導入してみる。)

- ・積極的に使うというよりは、税金で賄える余裕があるのであれば税金を使用しても良いと思います。交通弱者の方々に、路線バスを利用している方々にとっては本数が少なく不便もあると思いますが、廃止になるのは困ると思います。
 - ・公費の投入は慎重にすべきであるが、交通弱者の移動手段の確保する必要があるため、積極的にではないが最小限～無駄にならない程度の公費投入は考慮し、公費の負担があまりにも大きければ廃止はやむを得ない。
 - ・廃止には反対。公費投入もやむを得ないとは思いますが、それよりも前に経営改善努力をしてほしい。若者よりもお年寄りの方がお金を持っているのだから元気70パスのバスカードを配布するのではなく、販売したらどうだろうか。
 - ・利用状況があまり理解できていないのですが、確保が必要な路線は多少公費を投入してでも残すべきだとは思いますが、でも、地域の需要が無ければダイヤの見直しや路線の変更等の縮小も仕方がないのでは。
- 昭和型のモータリゼーションを押し進めるのか。昭和型の発想をやめ、持続可能なモデルを模索するしかない。それができない人材を金太郎飴のように採用するのはやめたらどうか。
- ・交通弱者の移動手段を奪ってはいけないと思う一方で、採算のとれないバス路線の維持に大切な税金を投入するのも大変なのではないかと思うので難しい質問です。
 - ・移動手段がない方のためにはバスは必要だと思うが、インフラ整備が車に偏っている和歌山では、将来的に廃止に向かうと思うので、そこに公費を投入せずに将来的な別の移動手段を検討した方がよい。

問4 路線バスについて、ご意見等ございましたらご記入ください。(この設問は任意回答です。また、いただきましたご意見等への回答はできませんので、ご了承ください。)

- ・路面電車の復活を願います。
- ・老いるとバスは必要。
- ・小型バスに変更する。
- ・バス停の近くに駐輪場がほしい。
- ・是非とも残してください。
- ・多種多様な方法を検討すべきだと思う。
- ・採算の取れない路線は廃止すべき。
- ・コミュニティバスの導入も良いと思うのですが。
- ・運賃が高い。子育て世代にはお得なチケットを作ってほしい。
- ・徒歩で買い物に行けないところはバスを利用する。
- ・和歌山大学～栄谷～JR和歌山駅の路線を作ってほしいです。
- ・私は山口地区なのでバス路線が廃止になると困ります。
- ・和歌山市運行のコミュニティバスを導入して頂きたい。
- ・車に乗れない方(特に高齢者)にとっては、必要だと思います。
- ・新規道路が開通しつつあるので、今までの路線を見直してほしい。
- ・国体が行われるから 安全に運転する親切な運転手さんが増えてほしい。
- ・バスの運賃は高いと思う。高いから利用しないという人もいるのでは。
- ・バスの時間が遅れるのは仕方ないとして、早く来て出発するのはやめてほしい。
- ・ふじと台はこれから発展するので南海和歌山市駅、JR和歌山駅とのバスを増やすべき。
- ・和歌山のバスは高すぎる。需要と供給がアンバランスだから仕方がないが、福祉政策の一環としてやむを得まい。
- ・一回の乗車で目的地に行ける時ばかりではないので、乗り継ぎに対する割引があればよいと思う。
- ・イベントやお祭り、また昼間の空いている時間帯に高齢者など半額程度の割引をする。

- ・交通弱者を考え、人を乗せるだけではなく、物流も考える。市内環状線の巡回路線を考えるべきでは。
- ・和歌山の公共交通機関は他県と比べ、料金が高すぎる。どこまで乗っても一定の低料金にすれば利用者も増えるはずです。
- ・他の交通手段がない場合にのみ公費を投入する必要があると思います。
- ・高齢化になると移動手段として必要不可欠になるのではないかと思います。
- ・和歌山駅の方面の方は便利かもしれないけど、松江は大変不便です。
- ・主要部を回るコミュニティバスを走らせたかどうかと思います。
- ・利用したい路線が、朝夕のみ運行されるので使いたい時に使えない。
- ・移転した南保健センターの前にバス停がほしいです。
- ・公費を投入してバスの大きさ、燃料が安くなるようなバスを取り入れると良いのでは。
- ・和歌山のバスは不便。利用者が減っているから余計高くなり、誰も幸せになっていない。
- ・乗客が少ない→便数が減る→不便。悪循環になっている。もう少し乗客数というよりその路線の利用者の利便性を考慮してほしい。
- ・昔の市営電車はよかったと思います。どうして廃線したのでしょうか。一度廃線すれば復活はほぼ不可能。路線バスだけは何としても守るべき。
- ・採算がとれないとやはりダメだと思う。交通弱者には買い物サービスや病院の送迎サービスなどの公的補助がある方が無駄がないと思う。
- ・現状の路線バスの需要からすれば、通勤通学時間帯以外はマイクロバス又は普通車の7席位のボックスカーで代用出来るのではないのでしょうか。
- ・バス路線は当てにならない。路面電車の再導入を！広島、長崎、富山等、欧州ではより多く採用されている。
- ・住民も同じように努力して乗るべきだ。乗らないから路線を廃止するという会社も短絡的だ。今一度見直すべきだと思うが、税金の投入は必要だろう。
- ・最近のバス会社は積極的に路線を考えてるように感じます。あとは料金を安くしてほしい。
- ・タクシーを利用しやすくする等、代替案を確保できればそちらの方が使い勝手が良いこともあると思う。
- ・今は車があるのであまり利用しないが、高齢になれば利用する回数が増えるので、整備が必要だと思います。
- ・和歌山における路線バスの便数はひどいものである。交通弱者にとっては深刻な現状だと思います。
- ・JR和歌山駅から和歌山市駅の夜の便が少ないし、時間が遅いとバスがない。せめて、夜10時ぐらいの便があってもいいのでは。
- ・住宅地にもかかわらず、通勤通学時間帯のバスの本数が少なすぎるため、どうしても自家用車で移動せざるを得ない。
- ・高齢化に対応すべき公共機関は必須。早期の改善が必要。他府県に比較しても対応の遅れが明白。
- ・路線バスと特定地域ミニバス(より限定された狭い地域用)との共存(乗り継ぎ)や(住み分け)を明確にしてほしい。
- ・自分自身はあまり使わなくなったが、お年寄りと子供の交通手段であるから廃止はやめてほしい。
- ・バス路線を廃止する場合は、当該地域の交通弱者が取り残されないように対策を施してから廃止を希望します。
- ・市内南部在住ですが高齢者の買い物や病院通いのために、今の県道ではなく浜経由のコミュニティバスの検討をして頂きたい。
- ・路線バスは移動手段として必要でしょうね。コースの利用頻度等によって検討してみてもいいと思います。でもメインコースは残すべきでしょうね。
- ・中高生など、バスの混雑の元になる乗客は専用バスを走らせるべき。他は、乗車をもっと会社に呼びかけて、バス路線がなくならないようお互い協力すべき。
- ・バスの金額が高すぎる。高齢者に必要なのもよくわかるので、廃止するのもどうかと思う。他にバスに代わるものを作るとか、なんとかできないかと思う。
- ・今後の人口減少と高齢者の増加を考えると、バス路線の縮小はやむを得ないと思う。バスを小型化し、コミュニティ的な路線バスを検討してほしい。
- ・運転手さんの接客態度のさらなる向上をお願いします。他府県から来られたお客様が「和歌山のバスは親切で、愛想が良くて、なんて素晴らしい。」と言われるように。
- ・和歌山バス運転手の接客態度が悪いのがほとんど。乗客が降りる時に「ありがとう」と言ってるのに、ブスツとしたまま無言であつたりが多い。もっと接客態度の向上を。
- ・バス停で待っている時、次のバスは今どのあたりに居るのか、あと何分ぐらいで来るのか、分かるようなシステムにしてほしい。京都などではそのようになっている。
- ・路線バスは本数も少なくバス停の場所も中途半端なところが多い。交通弱者にはバスより、個人に対してタクシーなどのチケットを配布する方が時間的にも体力的にも良いのではないかと。
- ・交通弱者への対策は常に検討していただきたいと思います。しかし公費の有効活用は行政の責務ですので、費用対効果を評価しながら路線バスの仕様を検討していただきたいと思います。

- ・欧州には基本的人権の一つに、「移動権の保証」という考え方があって、この考え方に基づき公共交通機関への公費の投入を行っている。公共交通機関における無駄の削除は徹底的に行わねばならないが、無駄を省いたうえで必要な経費の投入は必要と考えている。
- ・自動車を運転しない私のような人にとって、バスは大切な移動手段です。値段が高く利便性が悪いと、利用したくても足が遠のきます。乳幼児も1人だけでなく、せめて2人まで無料にしてほしい。お金がかかると思うと多少無理してでも自転車や徒歩で出かけてしまいます。
- ・1時間に1本くらい家の近道を路線バスが通ってほしい。路線バスがあるならあるなりのバスの活用方法を各自考えられる。今は車を運転できるが、運転に不安を覚えるようになった時に、移動手段としてバスは貴重。バス活用のメリット(個人として、環境に対して、コミュニティにとって等)を継続的に唱えるところが欲しい。意識の高い人も出てほしい。
- ・私の住んでいる家近くには路線バスが走っていないので、仕方なく車、バイクを移動手段としている。大型バスでなく、時間によって車種の変更も考えて、きめ細かく走らせてほしい。
- ・最近では運転手さんのマナーもよく、気持ちよく乗れる。和歌山は自家用車の人が多いが、同時に高齢すぎるドライバーも多く、公共バスの重要性は高いと思う。できれば市の中心部からふじと台や加太方面に直結するバスがほしい。
- ・同じような時間帯に次々来る時もあれば、なかなか来ない時もある。もう少しダイヤは効率化できると思う。車に乗らない人にとっては、バスが唯一の交通手段なので、なくさないでほしい。郊外の森林公園などは、直通バスを作ってもらわないと車のある人しか遊びに行けない。
- ・交通弱者にとって、バスは安価で移動できなくてはならない交通機関であり、介護予防の観点から外出することは必要であるとする。ただ、PDCAがなく、無尽蔵に公費投入することは反対であり、きちんと第三者による監視と改善提案が必要であると思う。
- ・合理化すべきだが、高齢化、過疎化地域にはワゴン車やマイクロバスなど、実情にあった運用が必要だと思えます。車の小型化や運行時間を見直す。また、買い物であれば、スーパーに運行車を出してもらおうとか、ネットの活用もあるかな。
- ・料金が安く感じます。市内定額にするなど、料金を低くして利用者を増やす方向で公費を投入していただけると、普段自転車や徒歩で移動している人も、バスを利用する機会が増えるのではないかと思います。JR和歌山駅から利用する機会が多いのですが、減りに利用しないため、どのバスに乗っていいのかわかりません。観光客のためにも、バス利用案内員のような方が駅前に常駐してくれると、気軽に便利にバスを利用できると思います。
- ・時間帯の遅い場合等は乗車人数の少ないことが多いようです。もっと小型のバスを使用し、便数を多くした方が利便性が上がるのではないのでしょうか。少々乗り心地が悪くても辛抱できると思います。
- ・時刻表からあまり遅れないのが良いと思います。車に乗らないので、路線と本数が増えれば良いのですがなかなか難しいのでしょうか。高齢者や体の不自由な方は、近くにお店が少ない中、バスがあれば助かると思います。運賃をICカード乗車券等で支払えると便利です。
- ・私の利用する路線について、路線がなくなってしまうようなことにならないように、できるだけ利用したいと思っているのですが、利用したい時間が早すぎてなかなか協力できずもどかしい気持ちです。
- ・いつも、駐車場代がもったいないので市駅までバスで行きたいが、最寄のバス停は平日8時から15時まで6時間以上バスが走っておらずいつも断念する。「本数が少なく利便性が悪い」⇔「利用者が少ないから本数を少なく」の悪循環が来るところまで来ていると思う。大型バスが走る必要は全く無い。安くて10人くらい乗って燃費が良くて小回りもきくようなマイクロバスにそれなりのペイントすれば充分。某塾や某スイミングスクールのバスが通る度に「アレに乗れたら、車の使用頻度は減るのにな〜」いつも思う。主要道路(国体道路、小松原通り〜42号線、大浦街道〜26号線を朝晩10分に一本くらい、日中30分に一本くらい走ってくれたら、と思う。大型バスは全て売り払って、そのお金や大型バスにかかる燃費でマイクロバスを沢山買って是非実現させてほしい。マイクロバス運転手を雇うお金は、雇用創出になるので積極的に公費を投入してよいと思う。
- ・今更申しても仕方ありませんが、市営電車を残しておいてほしかった。バスより利用しやすいし、文化財としても良い。私は今、75才で自動車は危ないのと健康維持のためやめてまで自転車と徒歩に替えました。高齢化の時代、バスは廃止してはいけない。逆に自動車通行規制地域を増やすべきである。
- ・この短絡的なアンケートの取り方に問題がある。赤字のバス路線を維持するべきかどうかだけを聞くだけでよいのか。このアンケートだけでは「赤字なら廃止もやむを得ない」に票が集まるように思う。そもそもマイカーを推奨し、自動車メーカーを優遇しすぎた現在の税制で、バスとマイカーを天秤にかけること自体がアンフェアだ。自動車税を10倍にすれば誰もバスを廃止しろとは言わない。バスの利用状況について、もう少し情報を開示し、必要としている利用者についても触れた上で意見を聞くべきではないだろうか。
- ・利用したいが1時間に1本では非常に不便。また、料金が他府県と比較したら高すぎる。車両の小型化する。また、市内巡回し(料金定額性)、高齢者が自動車に乗らないで乗り合いバスを利用してまちに出られるようにする。各家庭に時刻表路線バス案内表などを配布するなどして喜んでみんな乗るように宣伝する。

・和歌山市生まれの和歌山市育ちですが、高校を卒業して以来、自動車がメインでほとんど公共の交通機関は利用しません。バスは乗ったことがありません。大阪に行く時は電車を利用します。最寄りの駅には徒歩5分なので85才の父親は電車とバスを利用していますが、母は足の調子が悪いため私が車で乗せて行きます。学生の頃からの記憶を辿っても、路線バスは決まった時間に来ないし、かなり高いと思い減りに利用しませんでした。マイホームを貴志川町に建て、そこでも車がないと不便だったので、コミュニティバスの必要性を感じました。私も今は車を運転しているので、必要性は感じませんが車に乗らなくなった時のことも考えます。たまたまJRの駅が近いのでいいのですが、最寄りの駅まで遠い人には不便だと思います。かといって、乗用車程度の車を利用して巡回するサービスがあったとしても、利用する人が果たしているのでしょうかとも思います。色々試みて試行錯誤していけば利用者目線のサービスに辿り着くのではないのでしょうか。和歌山市内の路線バスの運行の不満の声もよく聞きます。ぶらくり丁付近でも、目的地がすぐ傍なのに、そこを通過しないで別のルートで走ることもあるようです。

・日々移動をしても高齢者の運転はとても危険だと感じる事が多々あります。タクシーは高いし、車に乗れない方が病院に行くのも大変ですので、路線バスが充実すれば危険な運転の高齢者や、普段の生活でお困りの方も利用しやすくなるのではないのでしょうか。電車で出かける時など、たまに子ども達とバスに乗りますが、バス停が遠く、時間も少なくやっぱり不便だなあと感じています。

・日常的に使わないのではなくて、日常的に使いたいけど使って行きたい場所(目的地)にバスが無いからどうしてもバイク、自動車等になる。あったとしても本数の問題や時間帯的に急ぐので そういう意味でも余裕がないから。

・コミュニティバスを導入するとか、バス自体の大きさを小さくして細かな路線にするとか、工夫して存続してほしいです。和歌山のバス会社は、時間を無視して走るのが最大の難点。運転マナーも悪い。他府県のバス会社を視察して改良点を検討すべき。

・目的地までのバス路線を調べるのが大変です。調べても、正確に運行されているか疑問もあります。したがって、自家用車を使うことになるのです。今の和歌山は、完全に車中心の交通システムです。色々な施設も、車の利用が前提に施策を考えるべきです。

・紀伊地区では、紀伊駅の方にバス停がありますが遠くて利用できません。紀伊駅に行くバスは必要だと思いますが、国道24号線も広く交通量も多く、病院やスーパーなどたくさん停まる場所もあると思うのですが、ここはバスは通らないのですか？

・移動手段として、車を利用している高齢者は、歳を重ねるにつれ運転も出来なくなり、必要に迫られてどこかに行かねばならない時など、タクシーを利用しなければなりません。路線バスの数が1日に数回では…。せめて1時間に1本は運行していただければと思います。

・今は自分自身で運転できますが、もっと高齢になるとバスの必要性をひしひしと感じると思います。ただ、高齢者の方に聞いたところ、運転手さんによるばらつき(着席していないのに発進する人とか)があるそうです。親切な人も多いそうですが…

・路線バスの維持の一つに、燃費効率の悪い大きなバスではなく、小型のバスを投入することで燃料費およびその他の経費の削減ができるのではないかと。路線によるが、ガラガラの状態も見受けられる。

・路線バス始め、和歌山は交通機関が不便であり運行数も少ないと思う。高齢者が多くなる県でもあり、乗車数が少ないが先か交通手段を便利にするかが先か…ニワトリとタマゴかもしれないが、コミュニティバスを走らす等の検討をお願いしたいと思います。

・ほとんどの家庭には自家用車やバイク等の移動手段があり、路線バスの利用が減っている。反面、移動手段としてバスを利用するしかない人もいるので、バスの小型化などの対応が必要ではないか。廃止するのも一つの手段ではあるが。

・和歌山は電車や地下鉄が普及していないので、一家に何台も車があるような車社会だと思う。利用者が少ない路線を減らしたり、金額を上げてみるなども必要。最近では高齢者の無謀な運転が目につき、子ども達が危ないなと感じることがある。そういった事故を未然に防ぐためにも、年金とは別にバス利用パスなどを交付し、車に乗らないようにしてもらいたい。そうなればバス利用の数は維持できるのではないかなと思う。若く、働いている世代は自家用車などを利用しているので通学時間、通勤時間だけの運行。そうすれば運転手の数も減らせるし効率的ではなからうか。

・和歌山市内の路線ははっきりしないし運賃も高い。その上メインから外れたところは、1時間に一本程度。これでは利用する気にはなれない。せっかく元気バスを出しているのであれば、マイクロバスを走らせてもいいと思うが。

・バス代が高くて利用できないという人がいました。和歌山大学への通学に定期を買っても距離の割に高くバイクの免許を取らせたとっていました。採算が合わないので高くなる矛盾を解消する方法が必要ですね。利用人数の多い路線と時間帯は通常のバスで、少ない所は小型か普通車をバスとして走らせてはだめですか？

・メインの路線以外、通勤時間帯以外などはマイクロバスぐらいの大きさで運行し、より住宅地近くを回るなどの改善が必要だと思います。大きなバスに数人しか乗っていないのを見かけるのですが、バスの購入費や維持費、ガソリン費を考えると、もう少し小型のバスにしたら費用が抑えられるのと思っています。紀三井寺から市内まで500円以上すると、駅近くの一泊コインパーキングで800円などのほうが利便性が高い。

・近くに電車の交通手段もなく、路線バスがあれば高齢の方も利用すると思います。需要が少なくても利用している方がいる限り続けるべき。今は自分も移動手段があるが、いずれ利用する日が来るかもしれない。

- ・実際、路線バスが無くなって不便だと思いつつも、それ以前に住民が協力してバスを積極的に利用する等、何の行動も取らずに公がやるべきだと受け身な態度でいるのはやはり問題だと思います。
- ・高齢化の進む和歌山市では、民営化ではない公営化の路線バスが必要と思える。不要な部分の費用対効果の検討を既に進めていかないと大変な事態が起こると思います。
- ・自動車の交通規制を行い、路線を充実させ、地方公共団体の職員には、通勤の手段として優先的に使用させ、車を排除して路線バスの方が便利になるようにしていくべきだ。
- ・私達のように、車に乗って移動できる人間には路線バスは必要ないが、交通手段がない人達にとってはとても便利なものだと思います。ただ、利用者がそんなにたくさんいるとは思えないので、あまりたくさん税金を投入するのはどうかと考えてしまいます。
- ・現在も一部のバスの排気ガスや交通マナーに難点あり。今のシステムを全廃し障害者や高齢者、自転車利用者が利用しやすい交通手段を構築すべき。海外でも和歌山市と同程度のGDPや人口規模の町でも素晴らしい交通体系はある。
- ・運転の荒い人がいる。信号が黄色になっているのに止まらない。公共の乗り物を運転しているという自覚をしっかりとってほしい。ものを尋ねても無愛想な人が多い。中には笑顔で答えてくれる人もいますが。
- ・もし、バスの路線や本数がこれ以上減れば、高齢で車の運転ができなくなった人が和歌山市で生活を続けられなくなると思う。和歌山市内の路線バスでは、東西の移動が不便であるように感じる。特に南港山東線沿いについて、南保健センターができたのに付近にバス停がないため、車に乗れないお母さんが乳幼児の健診の際にどうやって行くのかと気になる。
- ・地域のふれあいバスや、市のパンダバス等利用し周遊する。採算の合わない路線はバス会社の経営にも負担となるので、廃止もやむを得ない。たま駅長のように和歌山市内のバス会社も経営工夫するか。
- ・市内北部に住んでいますが、和歌山駅に行くのに梶取からも北島からも市駅経由でも直通のバスが無くて便利が悪いし、もちろん本数が少ないのでやむを得ず、駐車料金がかかっても車で行ってしまいます。
- ・夜のバスの時間が少なく、実際に利用したい時に利用できない。もう少しバスの利用時間を考えてほしい。通勤時間だけでなく、例えば飲み会の多い金曜日、土曜日の夜の時間帯を増やすとか。バスの便が少ないように思います。他県では、よくバスを見かけるので、つい乗ろうとしますが、なかなか見かけないので、乗ろうとしない。1時間に1本とか本当に利用してもらいたいのかどうかと思ってしまいます。
- ・和歌山市には民間バス路線しかなく鉄道と連絡が出来ていない。バスの路線系統が増えすぎて、逆に1路線での乗車人数が少なくなってきて路線維持が難しくなっているのではないのでしょうか？ 基幹路線と枝路線的な運行で乗り継ぎ乗車出来るようにしたら、細部の運行が出来て経費も抑えられるのではないのでしょうか？ 卵が先か鶏が先かの様に、公共交通がきめ細かくないから、みんな他の交通機関に頼ってしまい乗客が減り、ダイヤが減るという悪循環が起こる。
- ・路線バスの維持が難しくなる傾向ですが、利便性を考えて本数を増やせば赤字も増加する。そうかといって本数を減らせば乗客も減り、大変難しい問題です。単純な考えですがバスを小型にして本数を増やす。コミュニティバスにしてどこでも乗降できるようにする。
- ・廃線など本数が更に減る等は仕方ないこと。コミュニティバス(マイクロバス)などへ変更するなどバスの維持費を抑えるように大きく改革してほしい。実際に市内を走っているバスを見ても、平日の朝夕以外に多くの乗客が乗っているバスを見かけない。
- ・学生さんとか、通勤通学で活用できる朝夕方の時間帯だけでも路線バスは必要であると思います。弱者に対する配慮は必要不可欠です。また、日本赤十字病院・和歌山県立医科大学行きのバスの定期運行は必須だと思います。
- ・和歌山の路線バスは乗り継ぎができません。これが利便性を損ねている原因の一つです。奈良や大阪の市営バスを見習い、乗り継ぎに関しての利便性を向上させ、目的地にたどり着くことを容易にすべきです。
- ・目的別バス路線(通院、通学、ショッピング、観光等)の提案をバス会社にしてみては？ また環状路線の検討もお願いします。次のバスは何処行きが何時にこの停留所着くのか、地下鉄のように表示できないものでしょうか。重ねてお願いします。
- ・採算の合う路線と赤字路線は、合わせて路線を形成しています。赤字路線は単純に廃止では無く、残す工夫が必要です。大型車でお客さんが少ない場合は、タクシーとの融合も検討してください。
- ・公共の交通機関は市民生活に必要です。需要が少なく、採算のとれないバス路線の維持に公費(税金)を投入することは、決して無駄な費用ではない。公費の節約は、行政上の無駄を徹底すべきです。
- ・中保健センターに行く時にバスがないので大変です。健診以外での保健所から呼び出しがあったりするので。2人小さい子を連れて約1キロは大変。3人目が生まれます。3人を連れて1キロ歩くのはさらに大変。車の免許がないのでどうしたらいいのでしょうか。

・大型のバスが空車で走るのは、無駄使用の象徴。マイクロバスに切り替えて、燃料費や車両の費用を節約する考えが和歌山バス会社の経営者にはないのか。市から何故コスト削減の提案をしないのか。役所の担当者も経費概念が欠落してる。バス会社も市もバス関係者は金銭感覚がマヒしている。真面目に仕事してたらガラガラのバスを走らすことはしない。意見に回答出来ないのは反論が出来ないからか？それなら意見を聞くな。

・現在の交通手段は自動車ですが後期高齢者で、もう間もなく免許証返納時期に近付いています。そうなれば路線バスは必要不可欠。高齢者社会を迎えて無くせないのが交通手段です。頑張ってもらわなければなりません。

・御膳松線が廃止され、不便をされている方が多いと聞きます。コミュニティバス等難しいと思います。旧御膳松交番跡地を整備して自転車置き場にできないでしょうか。自転車、バスのパークアンドライドで多少利便性向上が期待できるかと思います。

☆アンケート調査にご協力をいただきありがとうございました。交通事業者と情報共有を図り、今後の交通施策を検討していく上での参考とさせていただきます。貴重なご意見をありがとうございました。